



令和6年度 第4回

オンラインで実施

応用動物科学セミナー

幹細胞・オルガノイドを用いた ヒト胚着床現象の 試験管内での再現

柴田 峻 先生

東北大学大学院 医学系研究科 情報遺伝学分野 助教

使用言語・Language : 日本語・Japanese

着床は妊娠成立に不可欠であるが、そのメカニズムは不明な点が多い。最近、我々は子宮内膜オルガノイドとヒト ES 細胞由来の疑似胚盤胞(Blastoid)を用いてヒト着床の各段階を試験管内で再現することに成功した。本講演では、その詳細と最新の成果や将来展望について紹介したい。

● 2024年8月5日(月) 16:00 ~

Zoomで開催

要 事前登録



QRコードのリンク先で登録してください。登録完了と共に受付完了のメールが送付されます。ZoomのURLとPWは開催1週間前に通知されます。

● 本セミナーは東京大学 AMED iD3キャタリストユニット主催の第20回 Top Runners in TRS として開催され、本専攻の学生にも公開されるものです。本セミナーは動物科学のフロンティアの講義としてはカウントしませんので、レポート提出の必要はありません。

● 問い合わせ先:

獣医学専攻 実験動物学研究室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ a-skakuta@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

